



各小中学校運動会

No. 170 

2018年11月1日発行

議会だより

はが

9月議会定例会

定例会の概要	2~7
一般質問	8~14
声〈こえ〉私のいいたいこと	15
議会日誌・編集室	16

認定

大塚隆之氏、綱川みね子氏を推薦

□人権擁護委員の候補者の推薦について
平成30年12月31日をもって任期満了となる永島聰氏



▲沼能寿之氏



▲綱川みね子氏



▲大塚隆之氏

□芳賀町教育委員会委員の任命について
平成30年9月30日をもって任期満了となる沼能寿之氏を引き続き最適任者として任命することを議員全員が同意しました。

同意

の後任に大塚隆之氏（稲毛田）を、増淵佳子氏の後任に綱川みね子氏（東高橋）を最適任者として推薦することを議員全員が同意しました。

□平成29年度健全化判断比率及び資金不足比率について
地方公共団体の財政の健全

□芳賀町ロマン開発株式会社
の経営状況説明書の提出について
両法人の経営状況を説明するため、平成29年度の事業実績及び決算を報告するもの。
〔質疑〕 増淵さつき議員、岩村治雄議員、北條勲議員

報告

□公益財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明書の提出について

□芳賀町ロマン開発株式会社の経営状況説明書の提出について

〔質疑・討論なし、原案可決〕

□芳賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準（厚生労働省令）の一部改正に伴い、本条例の一部を改正するもの。主な改正点は、「連携施設確保の例外規定」及び「食事の提供の特例規定」の追加。

条例改正

全化に関する法律に基づき、監査委員の意見を付して報告するもの。
（質疑なし）

契約

□工事請負契約の締結について（芳賀変電所新築工事）

○契約金額
1億87万2千円
○契約相手方
宇都宮市御幸ヶ原町10番地3

□補正予算
□平成30年度芳賀町一般会計補正予算（第2号）

補正予算

小林俊夫議員、北條勲議員（討論なし、原案可決）

第3回芳賀町議会定例会

定例会の概要

平成30年第3回芳賀町議会定例会が9月4日から14日までの11日間の会期で開催されました。
第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明、監査委員から決算審査の報告を受け、同意案件を採決しました。
一般質問は、第3日目、4日目に行われ、6人の議員が町政について質問しました。
第4日目に平成29年度決算を除く議案の質疑・討論・採決を行いました。
第7日目に平成29年度の決算についての質疑を行った後、決算審査を常任委員会に付託し、第9日目まで決算審査を行いました。
最終日に平成29年度決算を原案どおり認定し、閉会しました。

平成30年第3回芳賀町議会定例会提出議案



平成29年度決算を

教育委員会委員に沼能寿之氏を任命・人権擁護委員に

総額に9085万円を追加し、予算総額を75億6900万1千円とするもの。
〔質疑〕 増渚さつき議員、大根田周平議員、杉田貞一郎議員、北條勲議員、岩村治雄議員
 (討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
 総額に2701万4千円を追加し、予算総額を19億501万4千円とするもの。
 (質疑・討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 総額に75万6千円を追加し、予算総額を1億6175万6千円とするもの。
 (質疑・討論なし、原案可決)

□平成30年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第2号)
 保険事業勘定の総額に3506万7千円を追加し、予算総額を15億1354万3千円とするもの。
 (質疑・討論なし、原案可決)

認定

□平成29年度芳賀町一般会計、芳賀町国民健康保険特別会計、芳賀町農業集落排水事業特別会計、芳賀町工業団地排水処理センター特別会計、芳賀町介護保険特別会計、芳賀町公共下水道事業特別会計、芳賀町祖母井南部土地区画整理事業特別会計、芳賀町宅地造成事業特別会計及び芳賀町後期高齢者

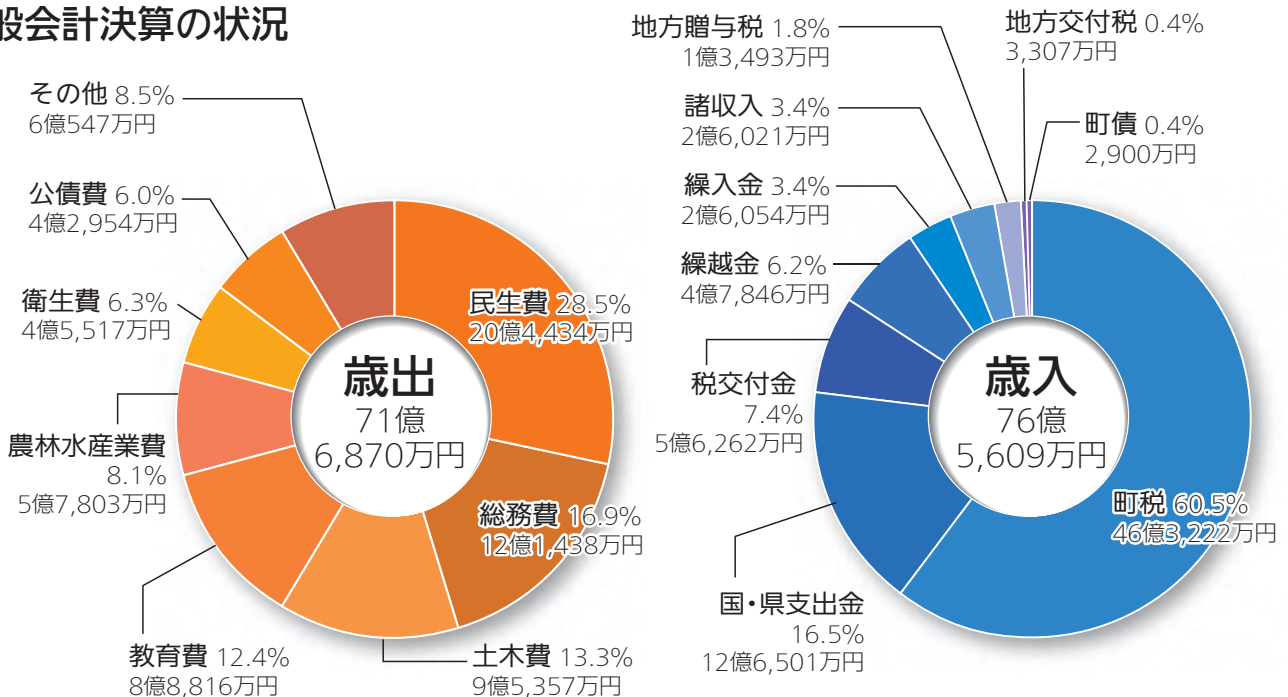
医療特別会計歳入歳出決算認定について

平成29年度は、第6次芳賀町振興計画の2年目でした。町では、「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」を実現するため、「便利をつなげる」「教育をつなげる」「話題をつなげる」「笑顔をつなげる」「地域をつなげる」の5つの分野に分けられた事業が実施されました。

平成29年度各会計決算の状況

会計別	歳入	歳出
一般会計	76億5,609万4千円	71億6,870万4千円
国民健康保険特別会計	22億7,728万4千円	21億3,088万7千円
農業集落排水事業特別会計	1億9,641万8千円	1億8,499万2千円
工業団地排水処理センター特別会計	5,161万7千円	4,838万3千円
介護保険特別会計	保険事業勘定	14億6,456万5千円
	介護サービス事業勘定	817万9千円
公共下水道事業特別会計	3億2,370万7千円	3億904万5千円
祖母井南部土地区画整理事業特別会計	3,251万7千円	3,174万9千円
宅地造成事業特別会計	2億8,019万6千円	2億5,557万3千円
後期高齢者医療特別会計	1億5,202万5千円	1億4,741万1千円
計	124億4,260万2千円	116億9,816万4千円

一般会計決算の状況



平成29年度末の町債(借入金)と基金(貯金)の状況(一般会計分)



項目	金額	町民一人あたり※
町債残高	22億594万4千円	約14万円
基金残高	24億2,167万2千円	約15万4千円

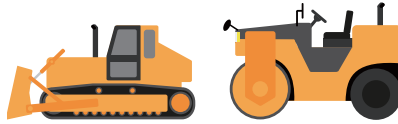
※平成30年3月31日の人口15,736人で算出。
千円未満は四捨五入。

平成29年度に実施した

5つの「つなげる」の主な事業

便利をつなげる

祖陽が丘宅地造成事業
決算額：2億5,540万円



教育をつなげる

英語力向上推進費
決算額：1,881万円



話題をつなげる

道の駅直売所の精米機・保冷库購入
決算額：788万円



笑顔をつなげる

介護保険地域支援事業
決算額：4,642万円



地域をつなげる

消防団詰所改修工事
決算額：638万円



り、財源の確保は不可欠なものとなりますので、人口減少社会の進展や、社会情勢の変化にも対応できる財政運営に努める必要があります。財源確保が厳しい状況が予想されますが、生活基盤となる道路・橋りょうや老朽化した各施設の更新整備についても計画的な財政運営により推進するようお願いいたします。

借入金である地方債の残高は、一般会計と4つの特別会計で、約51億4755万円で、年々計画的な減少が見られ、執行部の運営の姿勢と努力の跡が見受けられます。引き続き長期的な視野に立ち、健全な運営に併せ、老朽化するインフラの更新や財政の拡大につながる必要な投資は積極的に実施し、後世への負担軽減をお願いいたします。

平成29年度の予算執行も健全財政を堅持された町政経営が進められたものと思います。引き続き平成30年度も普通交付税の不交付団体になりましたが、財政的に余裕があるわけではないことを認識し、引き続き新たな財源確保の施策を講じるなど、歳入の確保に努め、最小の経費で最大の効果を生み出すことができるようをお願いいたします。



▲水沼孝夫監査委員



▲樋田貞夫代表監査委員

本町の財政は、比較的健全に運営されており、各種事業等歳出についても、計数的な過誤もなく、適切で誠実に執行されてきました。また、第6次芳賀町振興計画の2年目として平成29年度の重点施策について事業内容を確認した結果、概ね計画どおり良好に執行されてきました。

本町の平成29年度単年度財政力指数は1.026、健全化判断比率は、実質公債費比率2.5%、その他の判断比率は該当なし。資金不足比率も該当はありません。なお、自主財源比率は73.6%です。


財政の根幹をなす町税については、昨年度より約4449万円増の46億3223万円の収入となりました。

今年度はLRT事業の着工、祖陽が丘の整備分譲、また、来年度以降には、ほ場整備事業の2地区が控えており、財源の確保は不可欠なものとなりますので、人口減少社会の進展や、社会情勢の変化にも対応できる財政運営に努める必要があります。財源確保が厳しい状況が予想されますが、生活基盤となる道路・橋りょうや老朽化した各施設の更新整備についても計画的な財政運営により推進するようお願いいたします。

監査委員意見

最小の経費で最大の効果を

平成29年度決算の 主な質疑

 増淵さつき 議員

問 プラスチック等回収処理事業でリサイクルセンターに持ち込んだ量と再資源化量で差があるがこの理由について問う。

答 環境対策課長 リサチ 環境対策センターに持ち込んだ中で汚れているもの等、再資源化に適さないものは焼却処分しているため差が生じます。焼却の経費については、回収処理委託契約に含まれているので新たな費用負担はありません。

 杉田員一郎 議員

問 有価証券を6株所有しているが、ほとんどのものの配当金がない。今後株券の利用についてどのように考えるのか問う。

答 企画課長 配当金目的ではなく、事業の連携や第3セクター等での株式取得であり、財源の一部を補う、増やす等の計画はありません。

 大根田周平 議員

問 芳賀遊水地基本設計業務委託151万2千円の具体的な内容、構想等について問う。

答 都市計画課長 委託の内容は、整備計画案の検討、それに伴う図面の作成等です。構想については、五行川東側の東端に広場を確保し、子どもが遊べるようなせせらぎ水路を設置し、調整地の外周に桜堤回廊を予定しています。

 大根田弘 議員

問 公金の運用利子が平成29年度はゼロだが、その理由は。

答 会計課長 方が一、金融機関が破綻した場合を想定し、ペイオフ対策として公金の安全性を確保するため、普通預金を全額預金保険制度の保護対象預金となる決済用預金に平成29年3月に切り替えたためです。

 水沼孝夫 議員

問 対前年度比で投資的経費が38・6%減になっている。この要因について問う。

答 企画課長 平成28年度に実施した大型の事業が終了したこと、緊急的な故障や建物の修繕等、突発的なものが少なかったことが要因です。

 岡田年弘 議員

問 農地集積支援事業費についての実績は。

答 農政課長 農用地利用権設定等促進奨励金(町単独事業)、農地中間管理事業交付金(国庫事業)併せて60ヘクタールの農地を集積しています。率にすると64・5%で県内2位です。

 岩村治雄 議員

問 町道の維持管理対応件数が年々増加しているが、その要因について問う。

答 建設課長 路肩の草刈りは地元の方をお願いしている訳ですが、高齢化等によりできない所が増えてきています。現在は、農地水事業で各地区にお願いしています。個人宅の木の枝等今後の検討課題であると認識しています。

 大島浩 議員

問 定任促進費2100万円の内容について問う。

答 都市計画課長 平成27年度から始まった事業で、年々交付額が増加しています。平成29年度は、町内で新たに住宅を購入した世帯が11件、町外から転入し住宅を購入した世帯が25件、家賃補助が6件です。

 小林一男 議員

問 町税の収入未済について、調査と回収の実績を問う。

答 税務課長 預金や保険等に対する調査を742人に実施しました。述べ件数は1万1297件です。回収額は、約1337万円です。

 小林俊夫 議員

問 納税義務者2万911人の内訳は。

答 税務課長 延べの件数です。割合は町内93・4%、町外6・6%です。

 北條勲 議員

問 祖母井保育園運営費の委託料で337万2千円の不用額が出た理由を問う。

答 こども育成課長 平成29年度から給食調理業務を民間に委託しており、入札を行った結果、見積額より金額が下がったためです。



常任委員会決算審査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は9月10日から12日まで、平成29年度一般会計及び特別会計決算の書類審査と現地調査を行いました。各委員会は、9月14日の本会議において意見を付して決算を認定しました。

総務常任委員会

□書類審査（9月11日）

総務課、企画課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員事務局

□現地調査（9月12日）

消防センター第2分団第4部（改修）、ハツ木の丘（光ケーブル敷設状況）



▲書類審査



▲現地調査（ハツ木の丘）

教育民生常任委員会

□書類審査（9月10日、11日）

住民課、環境対策課、健康増進課、福祉対策課、こども育成課、生涯学習課

□現地調査（9月12日）

町民会館、総合情報館分館、廃プラ処理工場（ウィズペットボトルリサイクル（株））



▲書類審査



▲現地調査（総合情報館分館）

産業建設常任委員会

□書類審査（9月11日）

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

□現地調査（9月12日）

祖陽が丘、食肉センター（廃水管経路確認）、遊水地、道の駅直売所



▲書類審査



▲現地調査（祖陽が丘）



▲現地調査(消防センター)



▲現地調査(ハツ木の丘)

□審査の意見または特に留意すべき事項

①町税の不納欠損について対前年度比850万円
の増となっている。納税は住民の基本的義務であ
り、決算審査意見にも指摘があるように、納税の
公平負担の原則からも、滞納者に対する時効前の
速やかな対応策を講じて積極的な取り組みに一層
努力されたい。

②投資的経費の対前年度比はマイナス4億円を超
えるものであった。特に投資的経費は町の将来に
わたっての発展と、行政サービスの向上につなが
るものであり、安全安心の要でもある。義務的経
費を抑えることにより、先を見据えた投資的事業
へ配慮すべきである。LRT等の大規模事業で財
源の厳しさはあるが、公共施設等の老朽化に伴う
維持管理が喫緊の課題である。人口減少などに伴
い税収減になり、ますま

す維持管理費が捻出でき
ない。年度後半において
も補正することにより、
公共施設等の長寿命化に
努められたい。

委員長	大島 浩
副委員長	大根田 弘
委員	石川 保
委員	北條 勲



▲現地調査(廃プラ処理工場)



▲現地調査(廃プラ処理工場)

□審査の意見または特に留意すべき事項

①社会保障費の伸びが財政上の課題とされている。
後期高齢者医療特別会計と介護保険特別会計では、
高齢者の増加に伴い、医療や介護に係る費用が増
加して町の財政を今後著しく逼迫されることが予
想される。「入るを量りて出づるを制する」は財政
の基本である。健康長寿と医療費削減に向けての
町民に対する啓発と意識改革を促すとともに、担
当部課の事業計画を再検証し、2025年問題を
視野に入れての実現可能性の高い抜本的な中長期
的医療費適正化計画を示されたい。

②各小中学校にALTが配置され英語力の向上に
努めているが、今後さらに小中学校連携を推進し、
質の高い英語教育となるよう期待する。

③一人あたりのごみ排出量の少なさ及び資源ごみ
排出量の多さともに県内
上位クラスにあるが、そ
れに甘んずることなくよ
り一層の啓発活動に努め、
県内トップを目指し「環
の町芳賀」を推進されたい。

委員長	水沼 孝夫
副委員長	岡田 年弘
委員	小林 隆志
委員	岩村 治雄
委員	増渕さつき



▲現地調査(食肉センター廃水管経路確認)



▲現地調査(道の駅直売所)

□審査の意見または特に留意すべき事項

①芳賀工業団地排水処理センターは建設されて
30年経過。芳賀温泉ロマンの湯もオープンして
23年が経過した。町道等を含めこれまで修繕
や改修が行われているが、老朽化が進んでおり、
根本的な解決には至っていないことから更新時
期を明確にして、計画的に推進されたい。

②国土調査法に基づく地籍調査は平成24年度に
開始し、完了までに25年を要する予定であるが、
現時点では計画どおり進捗していない。担当職
員を増員して計画どおり推進されたい。

③入札、現場状況に合わせた施工方法等の見直
しにより、工事価格を抑え、費用対効果を高め
繰越額を計上したこと
は高く評価できる。今
後とも歳出削減に努め
られたい。

委員長	小林 信二
副委員長	小林 俊夫
委員	杉田貞一郎
委員	小林 一男
委員	大根田 周平

ここが聞きたい 6人の議員が一般質問

一般
質問

第3日目、第4日目に一般質問が行われ、6人の議員が町政について質問しました。



大根田 周平 議員 (9ページ)

- ① 無電柱化推進計画の策定について
- ② 土地利用計画策定の方策について



北條 勲 議員 (10ページ)

- ① 光の道加入促進について
- ② 災害対策について
- ③ 特別区全国連携プロジェクトへの加入について



水沼 孝夫 議員 (11ページ)

- ① 地方創生について
- ② 庁内規定や指導・対応と適用について



小林 隆志 議員 (12ページ)

- ① 災害への対応について
- ② スマートフォンアプリの導入について



増渕 さつき 議員 (13ページ)

- ① 生きがいサロン運営事業について
- ② 成年後見制度利用促進について



小林 一男 議員 (14ページ)

- ① 子育てについて
- ② 公共交通について

一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は12月3日からの予定です〉

みんなで議会を傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも放送します。

— 放映時間 —

会議当日	午後8時から
再放送	翌日の午後2時から



大根田 周平 議員

一般質問

無電柱化推進計画の策定について

問 祖母井の中心市街地等の無電柱化推進計画を策定しては。

答 町長 無電柱化の取り組みは、地域住民の生活環境の改善や地域の活性化を図り、とりわけ防災性の向上や安全で快適な通行空間の確保、良好な景観形成や観光振興の観点から重要であると認識しています。

市町村は国が策定した無電柱化推進計画及び県の無電柱化推進計画を基本として、町の

区域における無電柱化の推進について、計画を定めるよう努めることとなっています。本年度策定を進める県の無電柱化推進計画の動向を注視するとともに町の無電柱化推進計画策定の必要性について検討を進めていきます。

問 特に無電柱化を推進してほしいのは、祖母井神社付近と下原地域の地区計画区域のメインとなる道路。両地域には推進組織があるが無電柱化の意見や要望はなかったか。

答 都市計画課長 祖母井中部地区の座談会で一人の方から無電柱化の検討を求める意見がありました。下原地域では無電柱化に関する意見はありませんでした。

問 町では地域の方に無電柱化を推進しているか。

答 都市計画課長 国では「無電柱化の日」を定めて推進していますが、町では今のところ行っていません。

土地利用計画の策定の方策について

問 町では現在、祖母井の土地区画整理事業、下原地域の地区計画事業などが進められています。空間の仕上がりをも具体的イメージで

きるバーチャルリアリティを導入しては。

答 町長 バーチャルリアリティはまちづくりの都市空間や建築計画をコンピューターの中で立体化し、色や形、位置、高さや広さなど、簡単に切り替えて比較検討することが可能で、将来の姿をわかりやすく伝えるため効果的と考えますが、導入コストもかさむことから、調査研究を行い導入の検討を進めてまいります。

答 町長 サウンディング型市場調査は、民間業者から広く意見や提案を求め、対話を通じて市場性などを把握する調査と認識しています。町では実績がありませんので、研究から始める必要があると考えています。

問 水橋地域でも都市計画法に基づく地区計画を予定しているとのことだが早急に実施しては。

答 都市計画課長 橋場地区は国道、県道が交差し、さらに路線バスの結節点でもあり、町の南部において重要な生活の拠点と認識しています。現在の重点事業の進捗を見ながら推進に取り組んでいきたいと考えています。



▲無電柱化された真岡市の街並み



▲現在の祖母井の街並み

問 小学校跡地利用についてサウンディング手法を。

小学校跡地利用についてサウンディング手法を。



北條 勲 議員

光の道加入促進について

問 光の道サービス
の加入世帯数は。

答 町長 芳賀チャン
ネルを含む光の道
総加入世帯数は151
件増加し、3218世
帯となっています。

問 新しく家を建てる
際に、定住促進等
の補助と芳賀チャン
ネルの加入をセットに
できないか。

答 企画課長 定住促
進補助の内容を平
成31年4月に改正し、

光の道サービスへの加
入を補助の条件としま
した。補助を受ける方
はこちらに加入してい
ただくこととなります。

災害対策について

問 災害について、次
の点を問う。

①災害廃棄物処理計画
はあるのか。
②防災無線は全世帯に
伝わるのか。

③避難所を快適にする
対応は。
④緊急時、臨時職員も
招集はあるのか。

答 町長 ①計画の策
定はありません。
②気象状況によっては
聞こえないことがあり
ます。対応として、
メールや芳賀チャン
ネルでの配信を提供し
ています。
③最低限の備蓄品等を
準備していますが、町

で対応できない時は県
内外の様々な団体から
災害時応援協定により、
必要な物を支援してい
ただき対応していきます。

④大規模災害が発生し
た際の第2次配備で正
職員が対応できない場
合は臨時職員も招集し
ます。ただし電話対応
や事務処理等の後方支
援です。

問 がれきの仮置き場
候補地はどこか。

答 環境対策課長 学
校跡地を候補にし
ています。廃棄物の量
によっては運動公園も
候補地に検討していま
す。分別は県の防災マ
ニュアルにより、その
ときの災害の状況に応
じて判断し分別します。

問 猛暑日には防災無
線で熱中症予防の
注意喚起の放送はでき
ないか。

答 総務課長 検討し
ます。

問 避難所でトイレは
大切である。11か
所の避難所のうち9か
所は、下水道管がある。
マンホールトイレを設
置しては。

答 総務課長 検討し
ます。

問 避難所ではプライ
バシーが保てませ
ん。仕切りやベッドに
軽くて簡単な段ボール
を備蓄しては。

答 総務課長 必要な
資材は、支援をし
てくれる機関等と調整
をしながら検討します。

問 乳幼児液体ミルク
が開発されたら保

護者は助かります。備
蓄の考えは。

答 総務課長 開発さ
れれば視野に入れ
ていきたいと考えてい
ます。

特別区全国連携プロジェクトへの加入について

問 東京23区は共存共
栄を図るために、
全国自治体の51・2%
と連携・交流をしてい
ます。加入する考えは。

答 町長 町をPRす
るため良い手法と
考え、会員登録手続き
を進め、有効な活用を
図っていきます。



一般質問



水沼 孝夫 議員

地方創生について

問 地方創生も3年が経過し、政策がどの程度人口減少を抑制したかが問われている。国立社会保障・人口問題研究所では、今年の推計結果で、芳賀町の人口は1万5189人から2045年には6607人減って9122人に約40パーセントも減少する推計が発表された。町の総合戦略は人口の将来展望を2040年に1万4000人とし、今回の推計とは、約5000人も乖離が出ている。

答 町長 将来人口の乖離については、指摘のとおり、その差が大きくなっている。現在進める事業による効果と社会情勢の変化などの推移を見定め、来年度行う第6次振興計画の中期計画策定にあわせ、基本構想に掲げる人口目標値の見直しが必要について検討していきます。

町長の考えを問う。

要業績評価指標の検証、監査委員に対する報告はどのように実施されているか。

答 企画課長 KPIの実績につきましては、毎年実績の管理は行っていますが、実績について監査委員には、現在報告できていない状況です。こちらの作業の怠慢の部分もあると思うが、監査につける評価結果の作成に至っていません。

一度、第6次振興計画は白紙に戻し、町の再生とLRT効果を最大限に発揮させるために、土地政策を見直し、地域デザインを見直し、行政の責任として全庁挙げて早急な対応をされたいかがか。

答 企画課長 現時点の政策上においては、毎年少子化対策等に最終的には毎年度の実施事業を予算に落とし込み実施していきますが、少子化対策LRT等、町を形づくっていく部分、またコミュニティ維持、社会保障等の方向性を探りながら毎年の事業の予算事業として実施していく、そういったことを愚直に進めていく必要があると思っています。

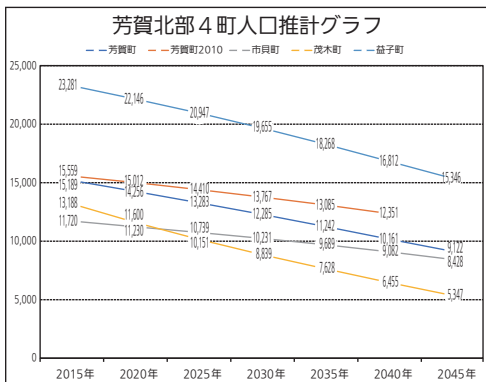
庁内規定や指導・対応と適用について

問 職員指導において、昼休みに外食や自宅に戻って食事をするこ

とが出来ないという話を聞いた。労基法34条は「使用者は休憩時間を自由に利用させなければいけない」とあり、休憩時間に拘束することは労基法違反になる。拘束すれば賃金の支払い義務が生じる。3月議会ですでに地元の商工業振興をお願いしたが、どういう経緯での指導なの

か、事実関係と見解を問う。

答 副町長 規定に基づく運用をしています。が、昼休みでも緊急に対応できるような体制をとらなければなりません。対応について外出禁止の指示を出したわけではありません。都合で外出する職員の動向を上司が把握できるように対応してほしい旨の指示をしたわけで、誤解があったようです。



	総人口 (人)						
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
芳賀町2010	15,559	15,012	14,410	13,767	13,085	12,351	11,612
芳賀町	15,189	14,256	13,283	12,285	11,242	10,161	9,122
市貝町	11,720	11,230	10,739	10,231	9,689	9,082	8,428
茂木町	13,188	11,600	10,151	8,839	7,628	6,455	5,347
益子町	23,281	22,146	20,947	19,655	18,268	16,812	15,346

まちづくり基本条例に基づくKPI(重)予測のとおり減少する。

問 条例を守っていたらきたい。現状では人口減少する。



小林 隆志 議員



災害への対応について

問 「被災者支援システム」の導入の考えを問う。

答 町長 「被災者支援システム」は、

刻一刻と変化する被災者の状況や家屋被害状況を記録・更新できるように becoming しており、罹災証明書、被災家屋証明書等の発行はもとより、各種支援制度の管理も行うシステムであると認識しています。導入に際しては、サーバーの構築等の業務が

数多くあり、費用負担も生じるので、今後十分に研究していきたいと思えます。

問 全国の半数強の自治体が、すでにこのシステムを導入している。まずは、「情報システム機構」から、講師の派遣を依頼してどうか。

答 総務課長 東日本大震災の際には、町でもいろいろな業務が発生し、その経緯が

東日本大震災の際には、

町でもいろいろな業務が発生し、その経緯が

行政アプリの導入について

問 スマートフォン用アプリの導入の考えを問う。

答 町長 スマートフォンの普及により

利便性の高いアプリの需要は高まっており、住民サービスの向上に役立っている自治体が全国で増えています。

主な利点は、手軽な操作感に加え、カレンダーや時計、地図情報などと連携し、利便性

を高められること、リアルタイムに必要な情報を得られること、双方向の通信により情報のやり取りが可能であることなどです。特に、特定の対象者に対する通知が可能となることや、データの集約や管理がしやすくなることなどのメリットが考えられます。

アプリの開発費用は高額で、既成のアプリ

を利用するには利用料が発生するので、費用対効果について慎重な検討が必要です。他市町の先進事例を参考に分野ごとに研究をし、アプリを導入することにより、より効果が期待できるものについては、導入を検討していきたいと考えています。

からもこのシステムは非常に有効であると考えます。講師の派遣についても検討していきたいと思えます。

て飲料、特にお湯の提供について有効である。導入の考えは。

答 総務課長 災害対応型紙カップ式自動販売機は、アルファ

問 東日本大震災の経緯から生まれた紙カップ式自販機は、被災時の初期段階におい

被災時の初期段階におい

米、粉ミルクなどを調合するお湯を提供できる利点があります。導入については自動販売



▲紙カップ式自販機



増渕 さつき 議員

一般質問

高齢者福祉の充実のために！ どうなる「生きがいサロン」

問

いつまでも要介護状態にならず、生きがいを持った生活が送れるよう町が主体となって運営が始まった「生きがいサロン」町内19か所、延べ857回、延べ6991人が参加されている。(平成27年実績)

答

町長 介護保険制度の開始翌年の平成

これまでの生きがいサロンの振り返りと成果、今後の具体的な方向性をお聞きする。

13年度にモデル事業として保健センター1か所

開始、その後全大字へと実施場所を広げ、現在18か所です。参加者の平均年齢は80.7歳で、生きがいサロンに通うことで、健康への関心が高め、運動につながり生活

についても満足と答える人が多く見受けられます。生きがいサロンは要支援者までを対象としており、通

いなれたサロンに継続して通うことで要介護になるのを遅らせる効果がある

と考えています。今後は、地域包括ケアシステムの構築とともに地域共生社会の実現に向けた取り組みも進めていくため平成31年度からは芳賀町シルバー人材センターに全部のサロンを委託する方向で進めています。介護予防



▲生きがいサロンの様子

に関することや体力測定、運動指導、血圧測定などは町が主体となって実施していきます。

問

委託先のシルバー人材センターは高齢者の

の就労支援といった傾向が強く感じられる。介護や福祉の研修など、運営の後方支援やスタッフのスキルアップについて町はどのように関わっていくのか。

答

福祉対策課長 ス タッフへの研修会などについては、引き続き町で実施していきます。

どう広げる？ 成年後見制度

問

平成29年3月に「成年後見制度利用促進基本計画」が閣議決定され、全国どの地域に住んでいても成年後見制度の利用が必要な人が制度を利用できるようにする観点から各市町村にさまざまな義務が課せられた。

①町の成年後見制度利用についての実施把握の状況

②制度の利用に関する費用等への助成

答

町長 ①昨年度は延べ76件の権利擁護の相談があり2人が

後見人の選定にすぎませんでした。

②「芳賀町成年後見制度利用支援事業実施要綱」を平成21年に制定し運

用しています。

③「芳賀町地域福祉計画・地域福祉活動計画」の来年度の見直しの際に国の計画も勘案し策定していきます。

問

「芳賀地区消費生活センター」のように4町の協議会の中で「成年後見センター」を立ち上げてはどうか。

答

福祉対策課長 これからの計画づくりの中で関係機関と相談しながら検討し、計画に盛り込んでいきたいと思えます。



一般質問



小林 一男 議員



▲保育園の様子

子育てについて

問 芳賀町の子育て、教育支援を今後どう構築、発展させていくのか、

地域社会の関わりや男女共同参画の視点も合わせて問う。まず、芳賀町職員の子育て休暇取得状況と今後のあり方は。

答 町長 平成28年度の子育て休暇取得者は3人、29年度は5人、今年度9月1日現在で3人、内1人は男性です。女性の活躍を推進する上で、男性の子育て参加は不可欠であることから、今後とも育

児休暇を取得しやすい環境づくりに努めます。

問 夫の家事・育児問題が第2子の出生率に大きく関わっている。夫が全く家事をしない夫婦の第2子出生率は7.5%だが、1日1時間夫が家事に関わる夫婦の第2子出生率は40%との結果報告がある。育児休業を取らないまでも、子どもが生まれたら一定期間残業をさせずに妻のサポートをさせるには。

町長 先月、利用者や登録者にアンケートを実施しました。その結果を踏まえ、平成31年春開院予定の芳賀赤十字病院への受入実現に向けて、運行計画・費用・組織体制

答 総務課長 残業は命令によって業務を行うということですが、業務の進捗度等ありますが、配慮はしていきたいと考えています。

問 保育園や小学校・学童保育と地域との関わりはどのようになっているか。

答 教育長 保育園や認定こども園でお預かりする0歳から6歳児

という期間は生涯にわたる人格形成に大切な時期です。温かな人の交流、様々な体験を通じて豊かな人間性を持った子どもとなるよう保育に取り組んでいます。小学校では地域連携推進計画を策定しています。

問 小学校合併に伴い、地域との関わりが薄れているように感じられるが対策は。

ふれあいタクシーひばりの運行拡大について

等の検討を進めています。

問 橋場から真岡市まで民間バスが運行されている。その路線維持に補助を出しているが、民間バスとふれあいタクシーひばりを連携させて経費削減はできないか。

答 都市計画課長 現在の路線バス運行状況は、1日往復6便・日中

1便という状況です。どの程度連携できるかは現時点では不明ですが協議していきたいと思っています。



▲ふれあいタクシーひばり

答 教育長 平成28年度に策定した芳賀町教育大綱の基本理念は、「地域の教育力で未来をつくる人材を育成します。」となっております。これを具現化するため、学校運営協議会を立ち上げたいと考えています。



菊内 聡さん
 (与能)

今後の芳賀町での農業

私は芳賀町で就農し5年程になります。農業経験の無い私でしたが、一緒に作業をしている経験者の方々のアドバイスもあって、現在は米とタマネギを栽培しています。芳賀町の土地で作られた米やタマネギはとてもおいしくお客様から大変喜ばれています。

私の家では稲作が主ですが、最近は農業者の高齢化もあり、田畑を依頼されることが多くなってきました。今後、農地の集約、集積がますます進んでいくと思われますが、農業の担い手不足、労働力不足も進む中でより効率の良い安定した農業をしていくことが求められてきていると思います。

芳賀町の行政の方々には、若い世代の人たちが意欲をもって農業に取り組めるような環境作りをしていただき、町の農業がますます活性化していけたらいいと思います。



大橋 千恵子さん
 (下高根沢)

近い将来に向けて

私は高校1年の二学期から家を出て、十数年ぶりに実家に戻ってきました。(夫付き出戻り?) 同級生や先輩の活躍に気づき、芳賀町での生活を楽しんでいます。田園地帯での伸び伸びと過ごした子供時代を懐かしく思い出します。野菜の苗や種などを分けていただいたり、上手な作り方を教えていただいたり、の小さな菜園、家の周りの雑草との悪戦苦闘の毎日です。

現在64歳。今のところ、夫と二人で無事に生きていますが、どんどん年齢が重なることを考えると不安になります。病院やスーパーなど、どこへ行くにも車がないと困る時が必ずやってくるのです。運転免許証の返納問題、LRTの利用の問題を具体的に理解し、近い将来に向けての心の準備をしなければならないと痛切に感じています。

この大好きな芳賀町が、これからももっともっと住みやすく、笑顔いっぱいの町になることを願っています。



石下 修平さん
 (東水沼)

ふるさと

去年、私は芳賀町の小学校で講師をさせていただきました。短い時間でしたが、多くの先生方に支えられ、非常に充実した時間を過ごすことができました。子ども達に教えたことよりも、自分が教わったことの方が多かったことは間違いありません。本当にありがとうございました。

現在私は、発達障害のある子ども達と関わり、勉強やコミュニケーションスキル、ビジネススキルなどを教えています。学校の先生によく叱られていた私が、子ども達から「先生」と呼ばれる存在になっていること、今でも信じられません。そんな「らしくない」自分だからこそ、指導では精一杯自分らしさをと思い、とにかく楽しんでできることをモットーに取り組ませていただいています。

いつか、今行っていることに転じて、障害の有無に関わらず一人ひとりの持つ才能を引き出せる場を提供したいと考えています。そして、私の夢は私を育ててくれた地元でそれを行うことです。

議会日誌

8月

- 1日・決算審査（～8日）
 - 町農業振興対策協議会
- 3日・市町村トップセミナー
- 4日・ロマン花火2018
- 9日・芳賀広域行政事務組合出納検査・決算審査
- 11日・高根沢町町政施行60周年記念式典
- 20日・例月現金出納検査
 - 芳賀中部上水道企業団例月出納検査
 - 国道123号整備促進期成同盟総会
- 23日・とちぎの道現場検証
- 25日・議会運営委員会
 - 議員全員協議会

9月

- 3日・芳賀郡市町議会議長会定例会
 - 芳賀広域行政事務組合議会定例会
- 4日・第4回芳賀町議会定例会（～14日）
 - 議会広報常任委員会
- 6日・総務常任委員会
- 7日・議会改革検討委員会
- 8日・芳賀中学校体育祭
- 9日・芳賀郡市民体育祭
 - スポレク祭
- 15日・小学校運動会
- 19日・例月現金出納検査
 - 芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 21日・企業団現金出納検査
- 22日・RUN伴栃木2018
 - 道の駅はが 梨・新米まつり
- 26日・芳賀中部上水道企業団定例会
 - 芳賀中部環境衛生事務組合定例会

10月

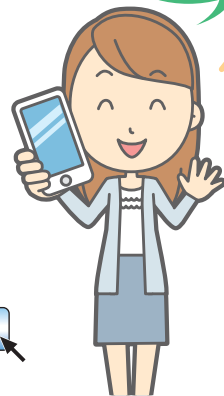
- 1日・総務常任委員会行政視察
 - （～2日 山梨県北杜市）
- 3日・戦没者慰霊祭
 - 行政視察受入（千葉県芝山町・多古町）
- 4日・産業建設常任委員会行政視察
 - （～5日 栃木市・神奈川県横浜市）
- 7日・町民大運動会
- 11日・教育民生常任委員会行政視察
 - （～12日 東京都品川区・埼玉県富士見市）
 - 芳賀中部上水道企業団議会先進地視察
 - （～12日 神奈川県横浜市）
- 14日・防災安全推進大会
- 17日・国保運営協議会委員研修会
- 19日・芳賀中部上水道企業団出納検査
- 21日・町文化協会30周年記念大会
- 22日・芳賀郡市町正副議長行政視察
 - （～24日 滋賀県・京都府）
 - 例月現金出納検査
- 25日・県町村議長会・研修会
- 26日・シニアクラブスポーツ大会
- 29日・町総合情報館10周年記念式典

議会だよりは ホームページでも 公開しています

本会議の会議録をはじめ、議会情報も随時お知らせしています。

掲載しきれなかった一般質問は、会議録で見られます。アクセスしてみてください。

スマホや
タブレット
でも！



芳賀町議会

検索

編集室

平成30年は猛暑、台風等の影響により、永年作物の収穫の前進化、多くの作物で端境期があったようです。異常気象で5年に1度の大雨等の報道も毎年の事で、これが平年の気候になってしまったかなと感じます。今後、このことを踏まえ、農商工、特に農に關しては今までにない作業体系が必要になるのではないのでしょうか。日本政策金融公庫の農業景況によると、2017年で21.2%、2018年上半年実績で3.3%、通年見通し

で12.6%のダウンという暗いデータが出ています。芳賀町は農業の町です。今後どのような政策が必要なのか、待たなすです。補助金の交付もいいですが、やる気のある人たちに行政、農協等の的確な指導が必要ではないのでしょうか。自分たちも将来を見据え、芳賀町の農業を明るくものにしていきたいと思います。

（委員長 小林 俊夫）

■議会広報常任委員会

委員長	小林 俊夫
副委員長	大根田 弘
委員	岡田 年弘
委員	石川 保
委員	北條 勲



▲秋の実り(にっこり)